-

APNet ニュースレター
ーAdvanced Power Networkー

Vol.160 （2022年9月号）

発 行
次世代電力ネットワーク研究会
一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

＜今月の注目点＞

・海外ニュースは、「再エネおよびエネルギー貯蔵導入義務」、「米国ルイジアナ州 GE-H 型ガスタービン 72.5 万 kW 導入」、「米国南西地域における風力発電の増加」、「ペロブスカイト太陽電池の開発」、「石炭火力発電所の燃料多様化」、「リモートグリッドによる山火事リスクの低減」、「異常気象に伴う計画停電」の計 7 本の記事を紹介しています。

・国内ニュースは、政府の「再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会において議論された再エネ導入拡大に向けた議論」と「料金専門審査会合における新しい託送料金制度に向けた事業計画の検証」について内容を簡単に紹介します。

---------- 目　　次 ----------

1　海外ニュース ..... - 1 -

1.1　インド：電力省が 2030 年までの風力、水力、蓄電池の導入義務を通知 ..... - 1 -
1.2　米国：GE H-Class ガスタービンがルイジアナ州の天然ガス火力発電所に採用 ..... - 1 -
1.3　米国：風力発電の増加が SPP 市場の主要な課題になっていると市場監視部門が報告 - 2 -
1.4　米国：NREL 主導のブレークスルーにより、ペロブスカイトセルの安定性と効率が向上 - 3 -
1.5　米国：石炭火力発電事業者は燃料の多様化を追求 ..... - 4 -
1.6　米国：PG&E 社と New Sun Road 社、リモートグリッドで山火事リスク低減へ ..... - 5 -
1.7　中国：異常気象に伴う計画停電 ..... - 6 -

2　国内ニュース ..... - 7 -

2.1　再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会における再エネの導入拡大に向けた議論 ..... - 7 -
2.2　新しい託送料金制度に向けた事業計画の検証 ..... - 10 -

3　事務局後記： ..... - 12 -